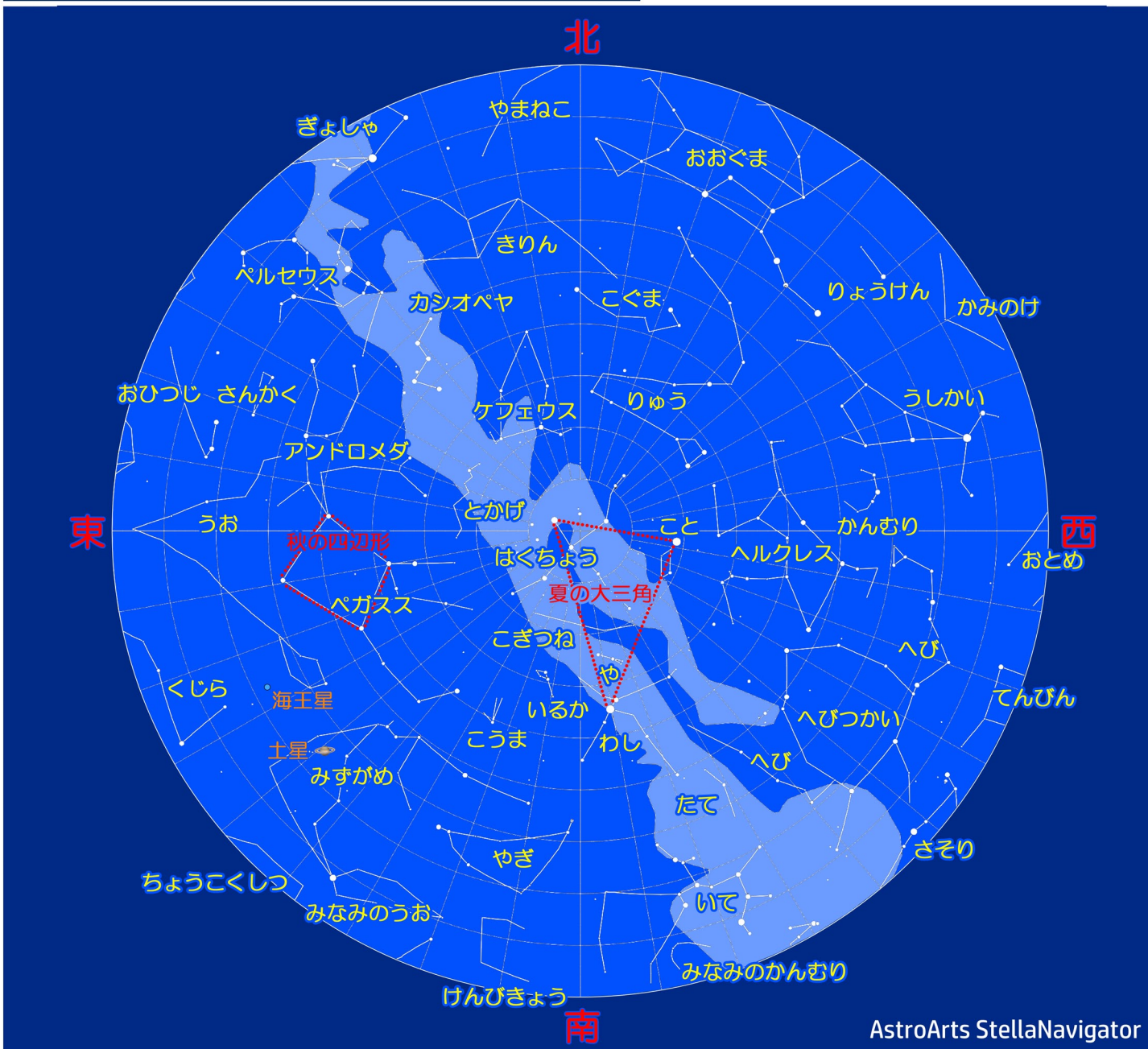




銀河の森天文台 2024年9月みどころ天体情報

9月の星空(15日 20:00頃)



かんむり座T星(再帰新星)



8月に続き、9月も一番のみどころを、かんむり座T星としました。かんむり座T星は、一定の周期で新星爆発を起こす再帰新星と呼ばれる天体です。かんむり座T星が爆発する周期は約80年で、今年の2月から9月の間に新星爆発を起こすと考えられていますが、8月までには爆発しませんでした。普段は約10等級と肉眼では見えない明るさですが、過去に新星爆発を起こした際には2~3等級まで明るくなりました。明るく輝くのは数日で、すぐに暗くなり見えなくなってしまう。再帰新星を肉眼で観測できる、貴重なチャンスです。
距離：約3000光年

月

	出	没
3日 ● 新月	04:33	18:11
11日 ◐ 上弦	13:06	21:26
18日 ☉ 満月	17:35	04:50
25日 ◑ 下弦	21:57	13:47

天文台から月を見ることができるのは7~22日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。
距離：約38万km

M15(球状星団)

秋を代表する球状星団でちょうどペガサス座の鼻先に位置しています。明るく非常に密集した球状星団で、望遠鏡では星が密集した様子を観察することができます。
距離：約3万3600光年

土星

今年の土星は環を横から見る位置関係になるため環がとても細く見えています。来年には土星の環が見えなくなってしまう、環の消失現象が起こります。
太陽からの距離：約14億3000万km

その他おすすめ

- M2(球状星団)
- M13(球状星団)
- M27(惑星状星雲)
- M31(銀河)
- M57(惑星状星雲)
- M71(球状星団)
- NGC7009(惑星状星雲)
- ガーネットスター(恒星)

イベント・天文現象

- 9月
- 4(水)~15(日) 土星と夏の天体観望会
 - 5(木) 月と金星が大接近、水星が西方最大離角
 - 7(土) 白露
 - 9(月) 土星が衝
 - 10(火) 月面X
 - 17(火) 中秋の名月、月と土星が大接近
 - 21(土) 海王星が衝
 - 22(日) 秋分
 - 30(月) 水星が外合

- 10月
- 5(土) 月と金星が並ぶ
 - 8(火) 寒露
 - 15(火) 後の月(十三夜)
月と土星が接近
 - 16(水) 月と海王星が接近
 - 23(水) 霜降
 - 23(水)~ 木星・土星と秋の天体観望会
 - 26(土)~31(木) ハロウィーンナイト観望会

開館情報

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館時間

14:00~22:30
(4月~9月)

13:00~21:30
(10月~3月)

休館日